



2023 英語授業改革セミナー

「本気で授業改革！」

『発信力』を育成する豊かな授業づくりとは
～論理・表現の授業から～

令和5年8月2日（水）

発信力の育成



『発信力』について

『グローバル化する中で世界と向き合うことが求められている我が国においては、自国や他国の言語や文化を理解し、日本人としての美徳やよさを生かし**グローバルな視野で活躍する**ために必要な資質・能力の育成が求められている。』

『外国語活動及び外国語科においては、特に外国語活動を通じて児童の学習意欲が高まっていることなど、現行学習指導要領に基づく各学校段階での指導を通じた学習成果が認められるものの、進学や進級した後に、それまでの学習内容を発展的に生かすことができていないといった状況も見られ、学校段階間の接続の不十分さなどが指摘されている。また、**中・高等学校においては、文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点に重点が置かれがちであり、外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組に課題があると指摘されている。**』

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について
(平成28年12月21日中央教育審議会答申)

『発信力』について

中・高等学校においては、文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点に重点が置かれた授業が行われ、外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組、特に「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動が十分に行われていないことや、生徒の英語力では、習得した知識や経験を生かし、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて適切に表現することなどに課題がある。

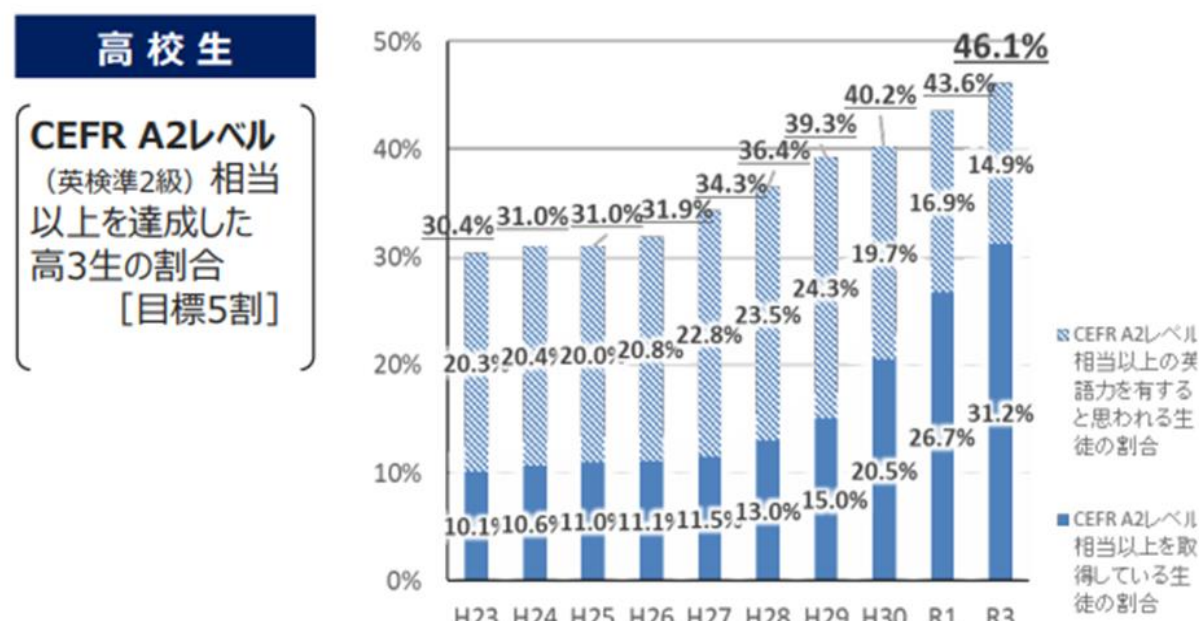
幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について
(平成28年12月21日中央教育審議会答申)

発信力について

『中学生・高校生の英語力は年々着実に向上するも第3期教育振興基本計画（～R4年度）の目標値は未達。地域差も顕著。』



※全都道府県・政令市のうち20の自治体が「5割」の目標を達成（最高：85.8%）
一方、12の自治体で4割を下回る結果（最低：31.9%）



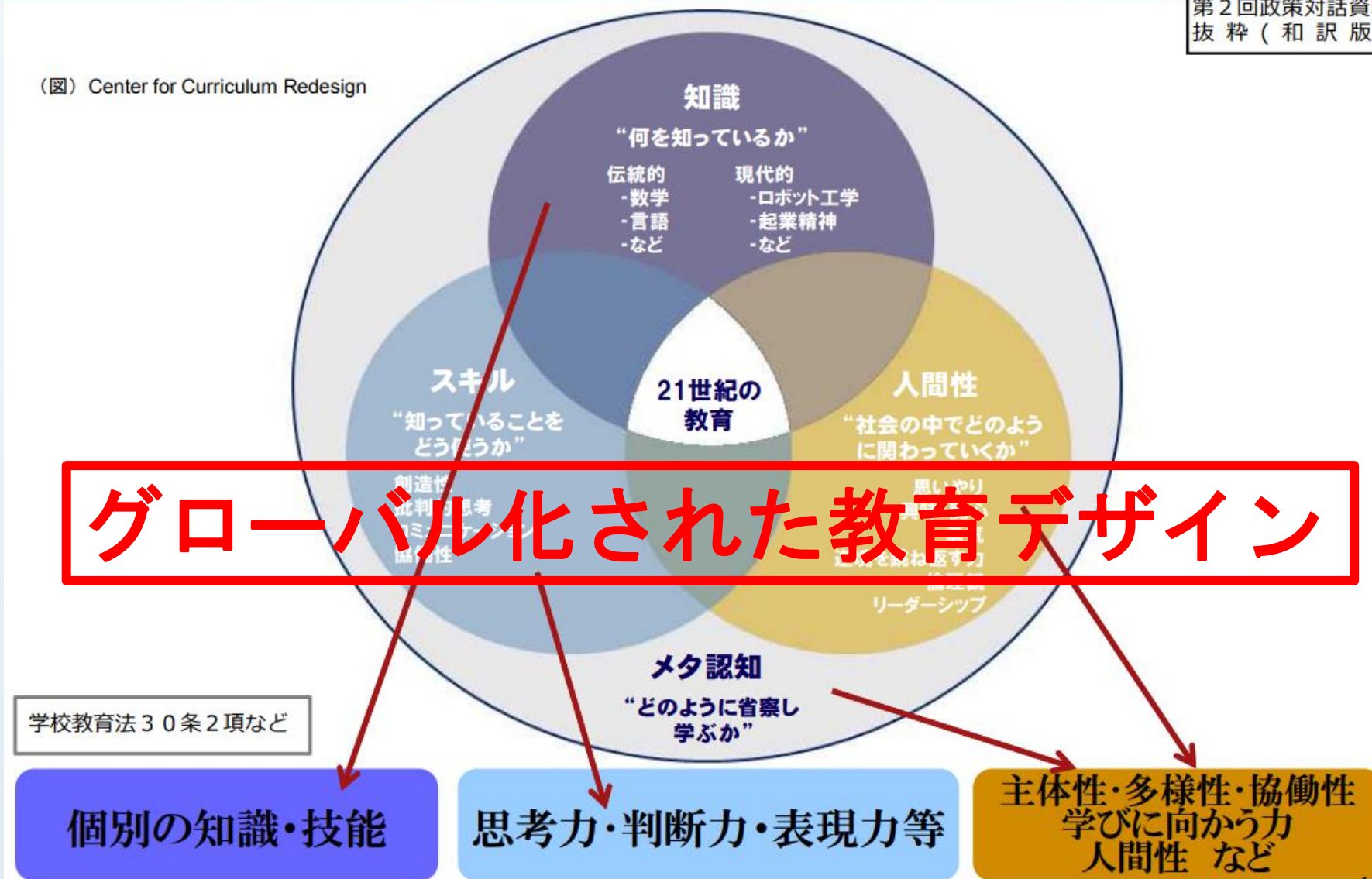
※全都道府県のうち8都県が「5割」の目標を達成（最高：59.6%）
一方、4県で4割を下回る結果（最低：36.3%）

英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて（アクションプラン）：文部科学省）2022年8月8日

カリキュラム・デザインのための概念と、「学力の三要素」の重なり

第2回政策対話資料
抜粋（和訳版）

(図) Center for Curriculum Redesign



グローバル化された教育デザイン

学習指導要領改訂の背景

① 「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動が適切に行われていない

⇒発信能力育成の不足

② 「やり取り」や「即興性」を意識した言語活動が十分ではない

⇒いわゆる「パターン・プラクティス」の傾向？

③ 読んだことについて意見を述べ合うなど複数の領域を結び付けていない

⇒技能別のアプローチにとどまっている

新しい学習指導要領

※下線は必修科目

平成 21 年告示学習指導要領	平成 30 年告示学習指導要領
コミュニケーション英語基礎 (2 単位)	<u>英語コミュニケーション I</u> (3 単位)
<u>コミュニケーション英語 I</u> (3 単位)	英語コミュニケーション II (4 単位)
コミュニケーション英語 II (4 単位)	英語コミュニケーション III (4 単位)
コミュニケーション英語 III (4 単位)	論理・表現 I (2 単位)
英語表現 I (2 単位)	論理・表現 II (2 単位)
英語表現 II (4 単位)	論理・表現 III (2 単位)
英語会話 (2 単位)	

「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編 英語編」

英語コミュニケーション

1. 聞く
2. 書く
3. 読む
4. 話す やりとり
5. 話す 発表

「英語コミュニケーションⅠ」，
「英語コミュニケーションⅡ」
及び「英語コミュニケーションⅢ」（以下「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ」という。）
は、**五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動**を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成する科目である。
（高等学校学習指導要領外国語編 英語編）

英語コミュニケーション I

英語コミュニケーション I (1) 外国語科の目標の改善

高等学校の授業においては、依然として外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組、特に「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動が適切に行われていないこと、「やり取り」や「即興性」を意識した言語活動が十分ではないこと、読んだことについて意見を述べ合うなど複数の領域を結び付けた言語活動が適切に行われていないことといった課題がある。

「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編 英語編」

五領域統合とは

In the past several decades, much evidence has emerged that, in order for learners to attain language competence, teaching needs to integrate linguistic and communicative skills. **The overarching goal of integrated instruction is to advance learners' language proficiency required for communication in various contexts.**

Today, after decades of research in language teaching and learning, it seems clear that, in many cases and for many purposes, the separation of the four macro skills is likely to be less effective than integrated instruction simply because, in reality, **communication does not take place in terms of discrete linguistic skills.**

Hinkel, E. (2010). *Integrating the four skills: Current and historical perspectives*. In R. B. Kaplan (Ed.), *The Oxford handbook of applied linguistics* (2nd ed.) New York. Oxford University Press:110-123

論理・表現 I

3. 読む

4. 話す やりとり

5. 話す 発表

この科目は、中学校などにおけるコミュニケーションを図る資質・能力を踏まえ、**三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動**を通して、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」を中心とした**発信能力の育成を強化**する指導を行う科目である。

「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編 英語編」

論理・表現 I

本科目では、複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を取り入れながらも、**発信に係る三つの領域別の言語活動を重点的に行うことが大切**である。例えば、ペアやグループなどの形態を変えたり、提示する課題を変えたりしながら、活動を繰り返すなどの指導が考えられる。

「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編 英語編」

「論理・表現」指導のヒント（「支援」について）

話すこと（やりとり）

- ・使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示されている。

話すこと（発表）

- ・使用する語句や文、発話例が十分に示されている。
- ・準備のための多くの時間が確保される。

書くこと

- ・使用する語句や文、文章例が十分に示されている。
- ・準備のための多くの時間が確保される。

亀谷みゆき.2022.「高校の英語授業での「支援」とは」.『英語教育』（2021年12月号）, 46-47

「論理・表現」指導のヒント

適切な「支援」が与えられているか？

豊かな授業づくりのために



導入の工夫

グループ（班）作りやペアワークのためのレイアウト作り



導入の工夫

役割の確認 ⇒進め方の明示。準備が整わないと活動が活性化しない。

(ex)

Students in this row, Student A!

Students in this row, Student B!

Raise your hands, Student A!

Raise your hands, Student B!

導入の工夫

Rehearsal

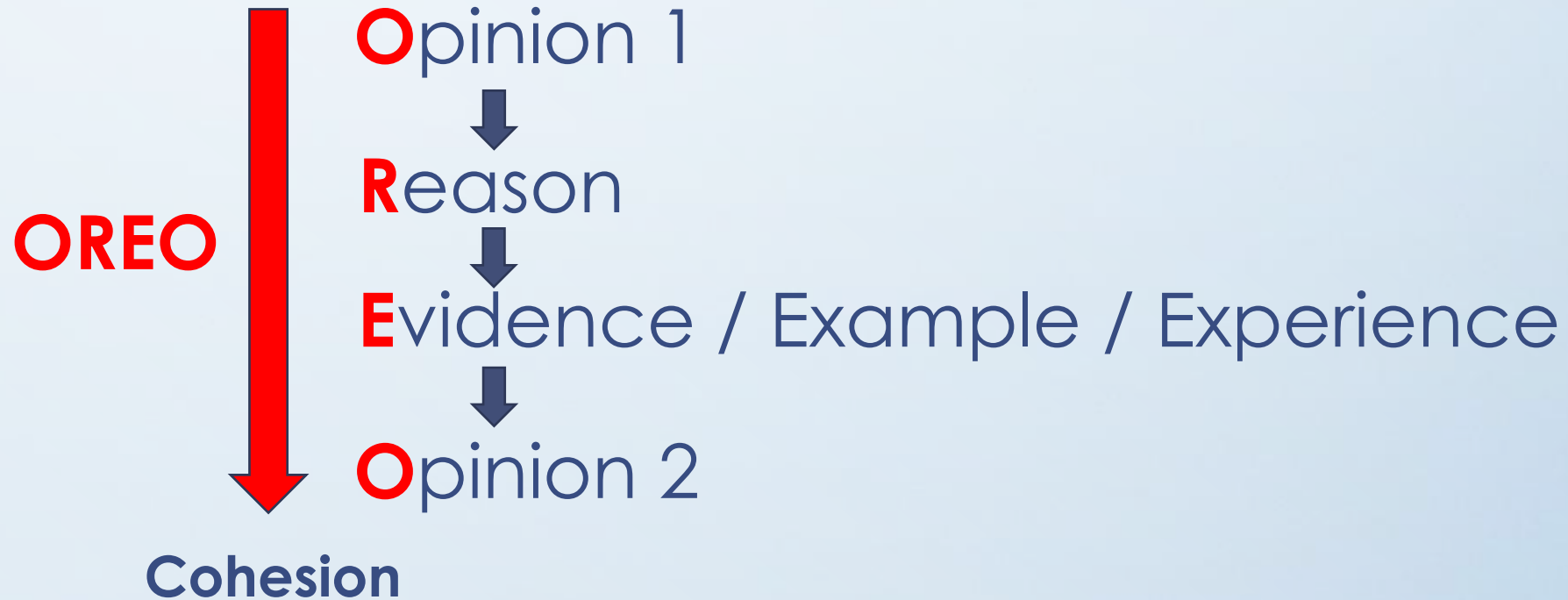
活動を始める前に一定時間を与える。

Personalization

トピックは自分の身近な経験や体験に結びつけることができるものとする。

導入の工夫

形式の明示 ⇒ 一つとは限らないが、標準的な形式を習慣化させる。



導入の工夫

十分な例の提示 ⇒書き（話し）出しがスムーズにできるように。学習事項を含める工夫。

- Caffeine doesn't affect me at all ...
- Caffeine drinks have a strong effect on me ...
- When I drink caffeine, ...
- I drink an energy drink to stay up late ...
- For example / The other day / At every lunchtime
- My brother drinks a lot of ...
- It is said that drinking too many energy drinks ...
- Young people should ...

導入の工夫 (トピックの落とし込み)

TOPIC : Caffeine

- What is caffeine?
- How often do you take caffeine?
- How people in the world are taking caffeine?

Caffeine ⇒ **Inemuri** (居眠り)

フィードバックについて

EVALUATION SHEET					
Your name _____					
ENUNCIATION	1	2	3	4	5
CONTENT	1	2	3	4	5
LOGIC	1	2	3	4	5
DELIVERY	1	2	3	4	5
			TOTAL		
COMMENT					

発表中に他の生徒に評価をさせて、発表者に渡す。

フィードバック (Peer readingとFeedback)

Pair work

Presentation

Writing

Peer reading

Feedback

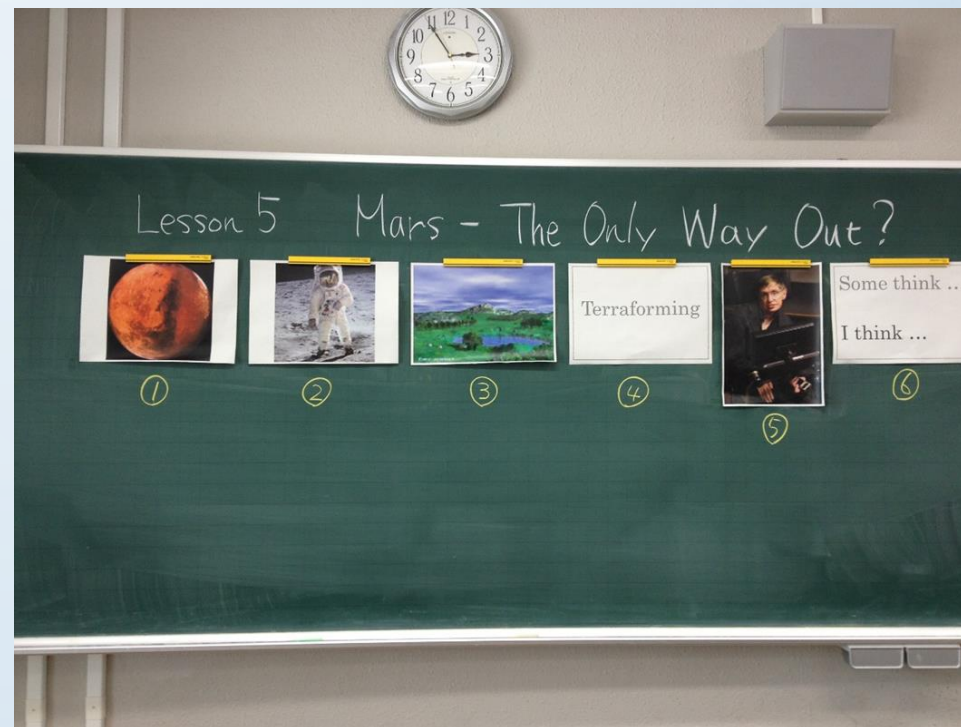
Writing (提出)

一連の流れを受けての
Peer readingと
Feedback

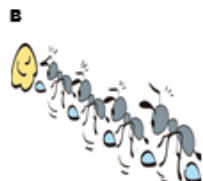
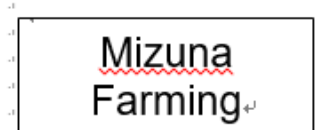
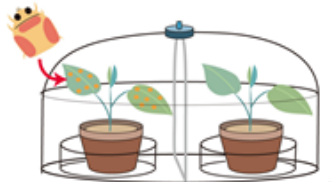
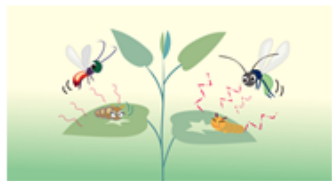
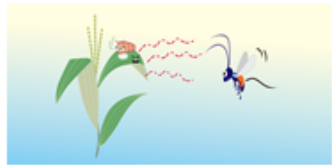
講演では授業風景を映写
します。

具体的な活動 (Retelling)

キーワードや絵をヒントに、取り込んだ英文を再生する活動。本文の暗唱を目的とするのではなく、本文のメッセージを伝え、自分の意見を付け加えたりすることも目標とする活動。



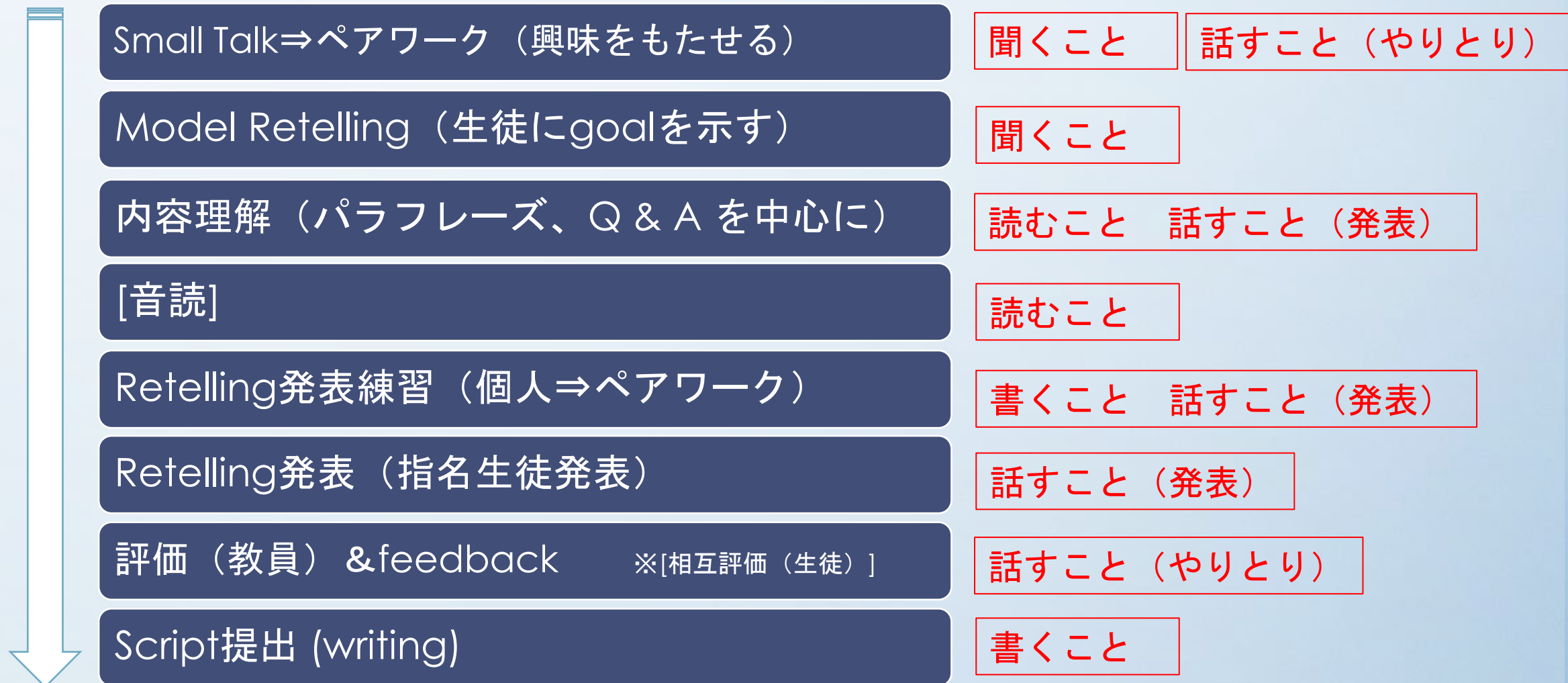
Retelling Sheet (Lesson 5)



Read the three paragraphs on page 64 and 65 of the textbook. Choose one from A through C the thing that surprised you most and explain the special feature of the communication methods described in the picture that you choose and tell us your impressions about it.

- 内容理解が終わった後での活動
- 用意したイラストごとに2～3行のライティング
- 書きやすくなるように展開ごとのイラストや写真)
- 習熟度に合わせて負荷を調整
- ペアワークで互いに発表

Retelling を中心とした活動 (1レッスンに組み込む一例)



具体的な活動 (Mini-debate)



28

具体的な活動 (Mini-debate)

話しやすいトピックで

- ① controversialなトピック設定
- ② 4人1グループで
- ③ 肯定・否定2人ずつ
- ④ 活動後、各立場で何組か発表
- ⑤ 最後はライティングで終わる



Mini debateの流れ

“Zoos should be banned.”



①

- 肯定AとBは動物園経営者。
- 否定CとDは動物の権利活動家。

②

- 肯定Aが発表。
- 否定Cが発表

③

- 両者が反駁の準備。2分間。

④

- 肯定Bが反駁。
- 否定Dが反駁。

⑤

- いくつかのグループを指名。発表。

講演では授業風景を
映写します。

具体的な活動 (ディベート・ディスカッション I の授業から)

- 新しい学習指導要領から始まった科目。
- 話すこと (やりとり) の領域を育成。
- 「論理・表現」を発展させたもの。

31

ディベート・ディスカッション

「話すこと〔やり取り〕」の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、ディベートやディスカッションなどの「話すこと〔やり取り〕」を中心とした発信能力及び論理的な思考力や表現力の育成を強化する指導を行う科目である。資料を的確に活用し、多様な語句や文を用いて、賛成又は反対の立場をとった上で、論理的に一貫性のある議論を展開することや、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにすることを目標としている。また、本科目における学習内容は、本科目が専門教科に属する科目であることを踏まえ、**「論理・表現Ⅰ」の内容を発展させたもの**となっている。よって、ここでは、ディベートやディスカッションだけでなく、統合的な言語活動を通して「話すこと〔発表〕」や「書くこと」についても適宜扱い、スピーチやプレゼンテーションなどの、専門科目としてふさわしい内容を取り扱うことも求められる。

「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編 英語編」

ICTの活用について

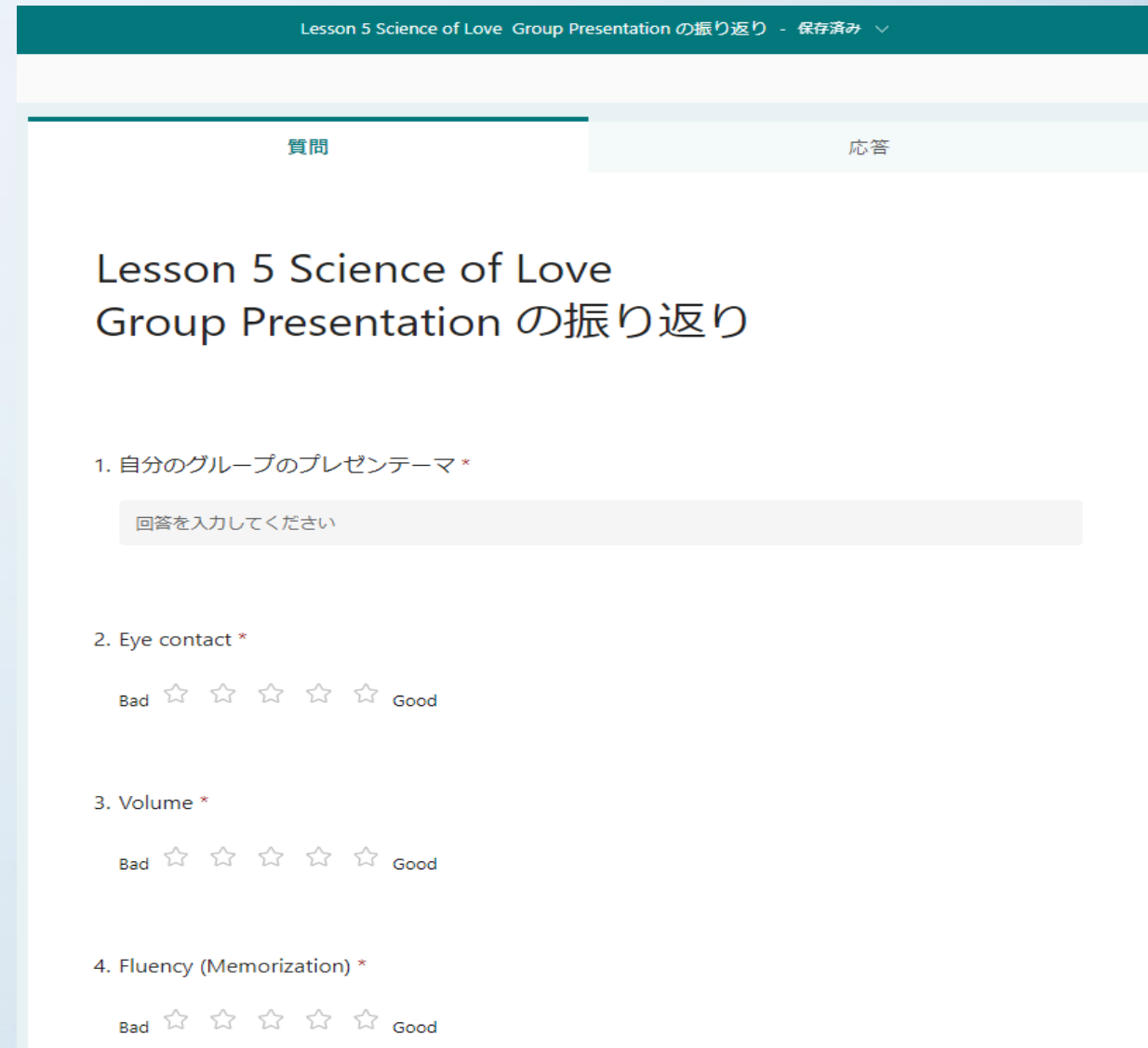
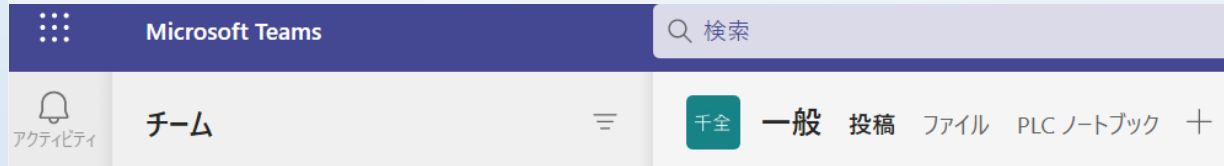


OneDrive (Office 365)の活用

クラウド上でグループごとにスライドを共同作成

- 教員が作ったファイルをグループの生徒と共有する
- 生徒はどこからでも編集が可能
- 進捗を教員が確認できる
- 授業前に教員が自身のPCにダウンロード

振り返りをTeamsでFormsを送信



Microsoft Teams Reading Progress

87
1分毎の正解単語数

87%
正解率

9	誤発音	1	繰り返し
5	不作為	0	自己修正
8	挿入された箇所		

Good morning, everyone. Welcome to Yakushima! Thank you very much for joining our **eco-tour**. My name is **Suzuki** Kenta, and I'm your guide for the tour. First, I am going to give you a short orientation. After that, we will start the **tour**. **We'll** return to this office tomorrow evening.


By the way, do you know what **but** an "eco-tour" is? It is a trip in which people are asked to be more responsible for the environment. In other words, we need to be more careful not to damage the environment **for** **while** **we're** on the tour. **Yakushima** was registered as Japan's **japan's** first Natural **was** **World** **Heritage** **Site** in 1993. Since then, the number of **some** tourists to this island has greatly increased. Of course, we're very happy to have so many tourists, but this **have** has caused some **problems**. For example, plants along some mountain paths have been stepped on and damaged by the tourists. So, before starting the **after** **tour**, I want all **we're** **of** **you** to understand the meaning of **eco-tour** eco-tours.

Write & Improve (Cambridge University Press & Assessment

A report: Making a video

Your English class is going to make a short video about daily life at your school. Your teacher has asked you to write a report suggesting which lessons should be filmed **and** why.

Write your **report**.

Start again 

My teacher has asked me to write a report about which lessons should be filmed.

I am think it will be good idea to filming the English class with our teacher who is Mrs Roberts. All of students love Mrs Roberts and we enjojn this class alot. We could show the students all having nice time and doing activitys. Poepple who watch the film will see that it is a fun. They will want come to our school if they see this class.

Then, we can show them the restaurant where we having the lunch. This will show them you can to have good food in this schools' restaurant. And they will see the students are happy to.

175 words entered. For this task you should enter between 140 and 190 words. You have written enough. Well done!

Feedback





Help 





Level
A2



That's amazing! Your writing is really improving. Pay attention to the feedback. What changes can you make? Could you try to write longer sentences? Keep writing to keep improving!

My teacher has asked me to write a report about which lessons should be filmed.

I am think it will be  **good** idea to filming the English class with our teacher who is Mrs Roberts. All of students love Mrs Roberts and we enjojn this class  **alot**. We could show the students all having nice time and doing  **activitys**. Poepple who watch the film will see that it is a fun. They will want  **come** to our school if they see this class.

Then, we can show them the restaurant where we  **having**  **the** lunch. This will show them you can to have good food in  **this** schools' restaurant. And they will see the students are happy  **to**.

 **Finah**, it will be good to showing the garden of the school and the sports they can play there. There  **are**  **lot** of trees and grass and flowers and it is health place to be together and for  **relax**.

I think that if people see this film they will want to come to have our daily life.

振り返りについて



自己評価シート

PERFORMANCE TEST SELF EVALUATION SHEET				
No	Name		Date	
Self - reflection				
Goal Setting				

考查後振り返りシート (一例)

英語コミュニケーションⅠ 振り返りシート【1学期】

HR _____ 番 名前 _____

【中間考查について】

1. 目標としていたことをまとめてみましょう。

また、今回の結果について自分なりの達成度を1～5の5段階で表しましょう。【現状分析】

目標としていたこと：

達成度(○で囲む)：1(低) 2 3 4 5(高)

2. 目標としていた点について、

①達成できた点

②達成できなかった点をまとめてみましょう。【現状分析】

達成できた点は…

達成できなかった点は…

3. 期末考查に向けた目標をまとめてみましょう。【目標設定】

4. 期末考查に向けた目標を達成するためにやらなければならないことをまとめてみましょう。【目標到達方法の設定】

主体的に学習に取り組む態度の評価（一例）

Speaking Performance Test

事前に10のディベート・トピックを提示。Affirmative / Negative Sideは自分で決める。JETがトピックを選択。意見陳述（30秒）。JETがアタック。ディフェンス・スピーチ（30秒）

Writing Performance Test

Which do you think is more important to a person's success: skills or luck? Give reasons and examples to support your opinion. Your answer should be in about 120 words.

例えば、このようなパフォーマンス評価のあとに、、、

評価用紙

Retelling EVALUATION SHEET					
Your name _____					
ENUNCIATION	1	2	3	4	5 知識・技能
CONTENT	1	2	3	4	5 思考・判断・表現
LOGIC	1	2	3	4	5
DELIVERY	1	2	3	4	5 主体的に学習に取り組む態度
			TOTAL		
COMMENT					

自己評価シートの評価例

評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする	
評価の方法	Self-reflection (5)	Goal Setting (5)
	自己の活動を客観的な振り返りができているか	自己の目標が明確であるか
5	自己の活動の客観的な振り返りが十分できている	活動の振り返りを通じ、自己の目標が明確になっている
4	自己の活動の客観的な振り返りがおおむねできている	活動の振り返りを通じ、自己の目標がおおむね明確になっている
3	自己の活動の客観的な振り返りが課題のある箇所がある	活動を振り返っているが、自己の目標の設定に課題のある箇所がある
2	自己の活動の客観的な振り返りが不十分である	活動を振り返っているが、自己の目標の設定が不十分である
1	自己の活動の客観的な振り返りができていない	活動の振り返りも自己の目標設定もできていない

今後の課題



今後の課題 (発信力の育成に向けて)

✓ 個々の活動の「質」をいかに上げるか？

⇒互いが関連し、生徒の自学習に広がりをもたせられる活動。「**学びのある活動**」の創出。

✓ 有機的な技能統合とは何か？

⇒例えばRとW、LとWにおける、最適な活動についての研究。

✓ 生徒同士のフィードバックの深化

⇒生徒同士の互いのフィードバックを活性化することが課題。

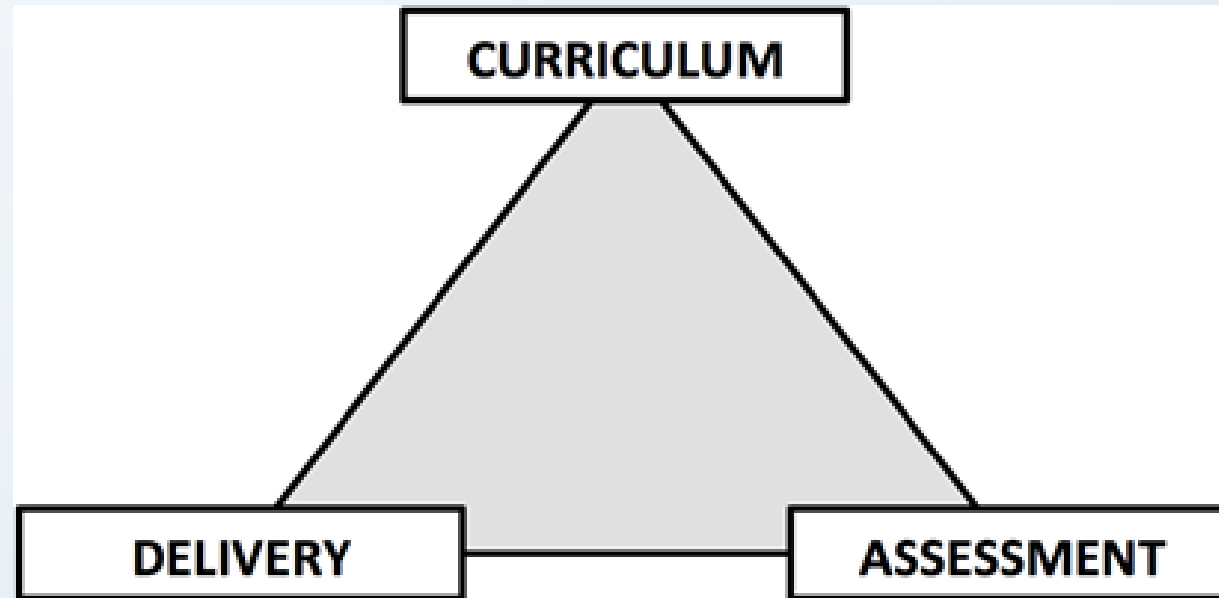
✓ 指導と評価の一体化

⇒学習の振り返りと見通しを可能にする評価（シラバス、ルーブリックの整備）

✓ 生徒の英語力の多角的な分析

⇒検定、模擬試験、考査等、さまざまな指標で学力を注視

The Comprehensive Learning System



Within the system the three core elements (curriculum, delivery, assessment) must be based on a single philosophy of learning supported by clearly defined models of language ability and progression and underpinned by a measurement model.

Barry O'Sullivan

Barry O'Sullivan. (2021). *The Comprehensive Learning System*. British Council Perspectives on English. British Council: 4 (https://www.britishcouncil.org/sites/default/files/the_comprehensive_learning_system_new_layout.pdf)

おわりに

“... successful learning is reflected in such **a transfer of responsibility from the teacher to the learner**”

Neil Jones and Nick Saville. (2017). *Learning Oriented Assessment; A systematic approach*. Cambridge University Press: 44



ご参加いただきありがとうございました。

東京都立千早高等学校 中村 隆道

Tokyo Metropolitan Chihaya High School
Takamichi NAKAMURA